

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公開番号】特開2008-55418(P2008-55418A)

【公開日】平成20年3月13日 (2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2007-218436(P2007-218436)

【国際特許分類】

B 0 1 J 37/04 (2006.01)

B 0 1 J 37/16 (2006.01)

B 0 1 J 37/18 (2006.01)

B 0 1 J 37/02 (2006.01)

B 0 1 J 37/08 (2006.01)

B 0 1 J 23/42 (2006.01)

B 0 1 J 23/46 (2006.01)

B 0 1 J 23/44 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 37/04 1 0 2

B 0 1 J 37/16

B 0 1 J 37/18

B 0 1 J 37/02 1 0 1 E

B 0 1 J 37/08

B 0 1 J 23/42 Z

B 0 1 J 23/46 3 1 1 Z

B 0 1 J 23/44 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年11月1日 (2013.11.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 2】

不均一系触媒を合成するための従来法は、多くの場合初期湿潤含浸または共沈殿技術を紹介した多孔性支持体上への無機塩前駆体の堆積、それに続く種々の乾燥そして堆積後のステップを含む。生じる金属粒子のサイズを制御しようとする試みは、多くの場合前駆体溶液の状態およびそれに続く熱処理時間/温度の最適化を通して行われる。しかし、そのような調製方法では、多くの場合、金属粒径、配置、および金属分散体の制御が不十分となる。上記で参照される技術では、触媒中の粒子の粒径、粒子間隔およびサイズ分布を正確に制御できない。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 7】

種々のデンドリマーポリマーが、触媒を生成するための方法で使用されてもよい。一つの形態では、G 3, G 4、およびG 5 ポリアミドアミンポリマーまたはP A M A Mポリマーが、該方法で使用される。デンドリマー金属ナノ複合物の使用による不均一系触媒の合成は、活性金属ナノ粒子のサイズおよび組成制御ために設計された原子を利用する。さらに、金属デンドリマー錯体形成のためのサイトの数は、利用されるポリマーの世代によって変化し、従ってデンドリマーに包接されるナノ粒子当たりの金属原子の数を調整することが可能となる。P A M A Mデンドリマーのこれらの特性により、ナノスケール範囲での平均粒径を有する狭い粒径分布で、デンドリマー金属ナノ複合物の合成または異なる金属のD M Nが可能になる。